

令和7年度第3回小林市地域公共交通活性化協議会・地域公共交通会議 会議要旨

開催日時：令和7年11月18日（火） 15時00分～16時00分

開催場所：小林市役所2階 第1会議室

出席者等：出席委員8人、代理出席4人、欠席委員5人、事務局3人

【会議要旨】 ※ [] 内は話者

1 開会〔事務局〕

2 会長あいさつ〔会長〕

前回協議いただいた市民アンケートについては11月末を期限として順調に回答が返ってきている。2月に予定されている次の会議で結果を報告予定。

本日は、コミュニティバスのバス7年度の運行に係る事業評価について協議いただく。委員それぞれの立場から様々な御意見をいただきたい。

3 議事

令和7年度地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー計画）に関する事業評価について

<質疑>

〔Q. A委員〕

野尻地区を走るバスは関係ないのか。

〔A. 事務局〕

野尻地区については、補助金を活用していないため今回の報告とは関係ない。野尻地区については全体の実績として毎年5月に開催される活性化協議会で報告する。

〔Q. B委員〕

令和6年度と比べて、路線ごとに減っている要因と増えている要因について分かっていることはあるか。

〔A. 事務局〕

大幅に減っている路線については、運行を委託している宮崎交通にも確認を行い、昨年秋頃に常連客が死亡したり施設に入所したため乗らなくなったとのこと。増えた要因はその逆でこれまで入院や入所していた方が在宅に戻り、コミバスを利用しているのではないかと考えている。

〔C委員〕

路線ごとに何回運行しているかが分からないので、資料に運行回数を載せたら分かりやすいと思う。

◆原案承認

4 その他

<意見>

〔D委員〕

コミュニティバスを市民団体へ貸し出すことはできないか。

〔事務局〕

コミュニティバスについては、法律に基づいて運行しているもので、原則として貸し出すことはできない。

〔E委員〕

コミュニティバスは通学の足にもなっているが、過疎地域を中心に今後も生徒数が減り続ける。コミュニティバスをいつまで維持するのか行政として判断するべき時期が近々くるのではないかと。人口減少も考慮し、事業者との協議を行い、今後の公共交通を検討してほしい。

〔F委員〕

現在、市のコミュニティバスは白ナンバーだが、緑ナンバーにすれば用途に合わせたダウンサイジングが可能。長期的な視点で検討する必要がある。

〔事務局〕

次期公共交通計画の策定段階で検討可能なものは検討し協議いただきたい。

〔G委員〕

福祉タクシーについて障がい者の需要が増えている。バスは利用したいけど乗りにくいという声もある。障がい者が利用しやすい環境を作してほしい。

〔H委員〕

バス無料デーや100円バスなどPRも含めた事業が可能か。逆に値上げの可能性もあるのか。

〔事務局〕

利用料を無料、もしくは安くすることは、現在の収支状況や事業者の運転士不足を考慮し現段階で検討していない。値上げについても現時点では考えていない。

5 事業者の近況報告

①鉄道の利用状況等について（JR九州宮崎支社）

吉都線関連ツアー（フォトジェニックツアーやお仕事体験ツアー、泉ヶ丘高校の生徒が企画するツアー）を計画している。

②交通安全について（小林警察署）

交通事故については県内で死亡事故27件、小林警察署管内での人身事故113件、いずれも前年並み。先日、昨年11月以来の死亡事故が発生した。日没も早まり、交通事故が増える時期。周囲の方にも交通安全の啓発をお願いしたい。

③タクシー業界について（宮崎県タクシー協会小林支部）

ドライバーの確保について、小林でも確保に向けて取り組んでいるが厳しい状況。賃金を上げないと人材確保ができない。今後も小林市で安定供給ができるよう努力していく。